



雪だるまが整列 くりやまクリエイターズマーケット特別出展

くりやまクリエイターズマーケットに、町内のハンドメイドサークル「まめのきもち」が特別出展しています。同メンバーが手作りした、鍋つかみやネックウォーマーのほか、小物の雪だるまをずらりと陳列。展示作品の販売に加え、要望に応じてオーダーも受けるとのことです。「まめのきもち」特別出展は3月13日まで行われています。



農業のコツを伝授 野菜づくり講演会

野菜作りのコツと裏技を紹介する「野菜づくり講演会」が、2月13日、図書館で行われました。一般社団法人農山漁村文化協会の齋藤龍司さんが講演。参加者は始めにDVDを視聴し、均一な大きさのジャガイモが収穫できる「ジャガ芽挿し」などの裏技を学びました。また、齋藤さんが、カラスによるトウモロコシの食害対策などを紹介。参加者は熱心に耳を傾けていました。



学校給食米を寄贈して10年 そらち南農業協同組合

そらち南農業協同組合が学校給食米を寄贈し、1月26日、佐々木学町長と吉田政和教育長が受け取りました。同組合は平成25年以降、毎年学校給食米を寄贈しています。寄贈されたのは減農薬米の「ななつぼし」3,550kgで、町の学校給食半年分。北輝男代表理事組合長は「米の生育が厳しい年もあったが、10年間寄贈し続けることができました」と話していました。



美しい字を目指して 継立小学校で全校書き初め大会

継立小学校で1月22日、全校書き初め大会が行われました。子どもたちはお手本を見て、半紙に「伝統を守る」「美しい空」などの文字を書いていきました。また、町内在住の書道家奥田秋湖さんが、子どもたちの間を回って添削し、美しい字の書き方を指導。1年生の岩崎花さんは「最初は難しかったけれど、上手く書けるようになったので良かったです」と話していました。



ヤムズキッチンに出店 札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校製菓・調理科の2年生が2月10日、まちなかレストラン「ヤムズキッチン」に出店しました。同校は、これまで調理実習や農業体験など、町と食を通じた交流事業を実施しており、今回は学生が卒業制作として考案した、栗山の食材を使用した料理を提供。大雪の影響で学生たちは来町できませんでしたが、前日から仕込みを行っ

たさつまいものスープ、牛肉の煮込み、フォカッチャ（パン）、いちごのソルベ（アイス）が入ったランチセット80食が完売しました。学生たちに代わり、ランチセットを提供した同校講師の真野聡さんは「学生たちは、お世話になった農家さんを始め、町民の皆さんに感謝を込めて作っていました。多くのお客さんに来ていただきうれしく思います」と話していました。



町との防災協定を締結 日立建機日本株式会社

町と日立建機日本株式会社が「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を結び、2月2日、締結式が行われました。同社は建設用機材などの賃貸・販売を行っており、協定では災害発生時、救助のための資機材を町に貸与する内容となっています。北海道支社の齋藤斗志郎支社長は「町民皆さんのお役に立てるように、精進していきます」と話していました。



冬の自然を感じる くりやまキッズクラブ

青少年体験学校「栗山キッズクラブ」が1月29日に行われ、15人が参加しました。オオムラサキ館での野鳥観察では、双眼鏡でカケスなどを観察し、スノーハイクでは雪の上を歩けるスノーシューを履いて、御大師山展望台まで散策しました。参加した北野新之助さん（栗山小学校4年）は「少し疲れたけど、スノーハイクの帰り道で滑って楽しかったです」と話していました。

